

環境振動運営委員会 第14回低周波音(振動)WG 議事録(案)

A. 日時 2008年10月3日 金曜日 18:00~20:00

B. 場所 建築会館 会議室

C. 出席者 石川主査、他10名

D. 提出資料(提出委員名も記入して下さい)

No.14-0 前回議事録案

No.14-1-1 2009年度委員会活動計画

No.14-1-2 小委員会設置申請書

No.14-1-3 刊行予定書

No.14-1-4 刊行企画書

No.14-1-5 刊行計画書

No.14-2 設計事例集目次案コメント

No.14-3 集合住宅における小レベル騒音について

No.14-4 課題取り組み進捗

No.14-5 上記課題取り組み参考例

No.14-6 建築物の現場における給排水設備騒音の測定方法

No.14-5 LF2008 プログラム

No.14-5 LF2008 投稿論文(和文)

E. 議事内容

1. 議事録確認(資料14-0)

- 承認された

2. 議論

(1) 主査よりコメント

- アカデミックスタンダードではなく、設計(事例)集・設置マニュアルの方向で執筆を進める
- 目次(仮)における「5.委員会提案」においてAIJとしてのオリジナリティーを盛り込む
- 次回WG(第15回)までに設計(事例)集の4章までの骨子をまとめる方向で
- 本WGは本年度で終了 2009年度より「低周波音問題刊行委員会(仮)」を設置(メンバーはそのまま)

(2) 資料No.14-1-1~5について

- 刊行のタイムスケジュール
  - ・ 2009年1月 : 2~4章の骨子を取りまとめ、5章の執筆へ
  - ・ 2009年9月 : 内部査読開始
  - ・ 2009年10月 : 外部査読(環境振動有識者、設計担当者)
  - ・ 2010年1月 : 査読完了
  - ・ 2010年3月 : 脱稿(版下原稿になる可能性が高い)
- 査読(内部:WG委員会内、外部(有識者・設計者))の必要アリ
- 建築関係者からの低周波音対策に関し質問が寄せられているので、その件も留意しつつ執筆

(3) 資料No.14-2について、説明と議論

(4) 資料No.14-3について、説明と議論

(5) 資料No.14-4・5について、説明と議論

(6) 各章以降の展開について、議論

- 次回 WG(1 月末)までに各チームで骨子をまとめておいてください

3. 次回以降の課題

- 4 章までの骨子を取りまとめ、5 章以降の展開を検討
- 次回にて 5 章(委員会提案)の詳細を検討

4. 次回開催予定

次回委員会は、2009 年 1 月 20 日(火)、17:30~ 本会会議室で開催予定